



移住者さんに直撃インタビュー

YOUは何しに七ヶ宿へ

①中嶋さん家

②高橋さん家

移住者紹介第7回。今回ご紹介する方たちは「地域担い手づくり支援住宅」制度を活用して移住された中嶋さんと高橋さんです。

地域担い手づくり支援住宅とは…

七ヶ宿で子育てをしたい方、地域の活動に積極的に参加してくれる方で、中学生以下のお子さんがあるご家族を対象とした町の移住定住支援策の1つです。現在14世帯のご家族が入居しています。

なかじま ゆういち
中嶋 勇一さん

居住地区…瀬見原地区

移住前…川崎町

家族構成…3人(娘1人)

移住理由…テレビで七ヶ宿町の移住特集をみたのがきっかけです。そのほかにも子育て支援などが充実しており、移住を決めました。

今していること…角田市にある仙南グリーンセンターで施設の運転維持管理業務を行っています。

今後やりたいこと…七ヶ宿に移住して一年経ちますが、まだまだ行ってみたい場所、体験したいこと、食べたい物があるので、今後も家族で色々回ってみたいです。



たかはし けいすけ
高橋 啓介さん

居住地区…瀬見原地区

移住前…仙台市

家族構成…6人(子供4人)

移住理由…4番目の子の妊娠をきっかけに引っ越しを考えていた時に、地域担い手づくり支援住宅のことを知りました。自然が多い田舎暮らしが家族の希望だったので、迷わず応募し移住することができました。

今していること…家電メーカーからの委託で修理・メンテナンス等のサービス業務を行っています。

今後やりたいこと…今年はたくさん、雪遊びを楽しみましたが、暖かくなったら昆虫採集や釣りなど自然を満喫したいと思います。生き物系のイベントがあれば嬉しいですが、行事などにも参加して地域の方とコミュニケーションを取ってみたいです。



●お問い合わせ 七ヶ宿まちづくり(株) ☎26-6891

つるし飾りづくり



▲真剣に製作しました

1月24日、高齢者センターで社会福祉協議会主催の「つるし飾りづくり」が行われました。今回は金魚のつるし飾りを作成しました。細かいパーツが多く苦勞されている方もいましたが、参加者同士で手順を確認し合うなどして慎重に作業を進めていき、色とりどりの金魚を作り上げることができました。今回作成したつるし飾りは、水と歴史の館で3月17日から開催される「ORADAZUのひな祭り」で展示される予定です。

保育所豆まき会



▲楽しい豆まき会になりました

2月3日の節分に、関保育所で毎年恒例の豆まきが行われました。子供達は事前に鬼のお面や、豆を入れるバッグ、柊鰯などを準備し、当日を楽しみにしていました。突然赤鬼が現れたことに最初は驚いていましたが、「鬼は外、福は内」の掛け声とともに力いっぱい豆を投げつけて鬼を退治しました。最後はみんなで楽しく節分の歌を歌い、1年の無病息災を願いました。

100歳おめでとうございます！



▲花束を手に微笑む高橋わささん

2月13日、大正11年生まれの高橋わささんが満100歳の誕生日を迎えられ、それを祝して町から特別敬老祝い金などが贈呈されました。わささんは長老地区出身で、現在はゆりの里に入所されています。テレビで歌番組を鑑賞することや、花を育てることが大好きで、元気に過ごされています。これからも元気で健康にお過ごしください。